

平成24年度 第20回 数理分子生命理学セミナー

日時: 平成24年11月7日(水) 14:35～

場所: 理学部E210 講義室

講師: 橋本 愛美 先生

(広島大学 大学院理学研究科 数理分子生命理学専攻,
分子生物物理学研究室・研究員)

演題: タンパク質の動的機能解析

要旨: タンパク質の構造と機能は表裏一体。そうとも言えるし、そうじゃないかもしれないこともある。膨大な量の立体構造情報が登録されていく現在でも、結晶構造からだけでは説明のつかない問題がたくさんある中で、わたしの研究の目的は、あるタンパク質がなぜそのような機能を発揮できるのか、溶液中でタンパク質分子が持つ動的特性を NMR 法を用いて解析することによって、その分子メカニズムを明らかにすることです。今回は NMR を用いた動的機能解析の例として、II 型糖尿病治療のターゲット遺伝子として広く研究されている、PPAR γ (Peroxisome Proliferator-Activated Receptor gamma) とその Co-activator である SRC1 (steroid receptor coactivator 1) の相互作用解析の結果を中心に、動的な機能調節の概要を知っていただきたいと思います。さらに、転写因子にきわめて多く含まれる、天然変性領域と呼ばれる通常構造を持たない領域が、いかにして転写制御にその能力を発揮するのか、お話できればと考えています。

《 本セミナーは、5研究科共同セミナー認定科目です 》

連絡先：坂本尚昭（理学研究科 数理分子生命理学専攻 内線：7447）